



2020. 12. 14 五色台少年自然センターで撮影

マサキの実

(ニシキギ科ニシキギ属)

冬でも緑色の葉をたくさんつけていることから庭木や生垣^{いけがき}に使われています。風雨に強いことから、防風林^{ぼうふうりん}として海岸沿いでも見られます。12月頃、赤い実をつけて、その実が熟すと3~4つに裂け、中から種子が出てきます。ヒヨドリやムクドリ、ツグミなどが好んで実を食べ、種子を遠くに運んでいます。

葉や実、樹皮^{じゅひ}など植物全体に含まれる脂肪油^{しぼうあぶら}は人にとっては毒性が強く、誤飲^{ごいん}すると嘔吐^{おうと}や下痢^{げり}の症状^{しょうじょう}を引き起こすことがあるので注意が必要です。